

未来への輪

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果 特別号

千歳市立向陽台中学校 学校便り 特別号 令和6年11月29日発行

【学校教育目標】

『真理を求め 心豊かに たくましく』

知性を磨き創る人 広く絆を結ぶ人
理想を求め励む人 気高く強く生きる人
すすんで道を拓く人

R6 全体スローガン「生徒も教師も ONE HEART！」

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、すでにこの調査結果を踏まえ、生徒の学力向上に向けた改善プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでおります。今後も学校と家庭が、お互いの役割を認識しながら一人一人を大切に育んでいきたいと考えております。家庭での学習などの取組についてもご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 教科に関する調査結果

【国語】

①領域別の結果

言葉の特徴や使い方に関する事項

この内容の問題は3問でしたが、漢字・短歌について、全国・北海道とほぼ同じかそれ以上の正答率でした。日常的に、小学校で習った漢字の復習に取り組んでいる成果が現れていると思います。

情報の扱い方に関する事項

この内容の問題は2問でした。「意見と根拠」についての問題の正答率が、北海道・全国を上回っています。この単元は、昨年度異学年交流を行い、力を入れて指導をしてきた部分です。

我が国の言語文化に関する事項

この内容の問題は1問で、行書の特徴を踏まえた書き方についての問題でした。引き続き、書写の授業で、楷書・行書の特徴について、指導をしていきます。

話すこと・聞くこと

話し合いの中の発言について適切なものを選ぶ問題が2問あり、全国・北海道を上回る正答率でした。1ヶ月に1回程度全学年で聞き取りテストを行ったり、合同授業や異学年交流授業を通して、話す場面を増やしたりした成果が現れています。

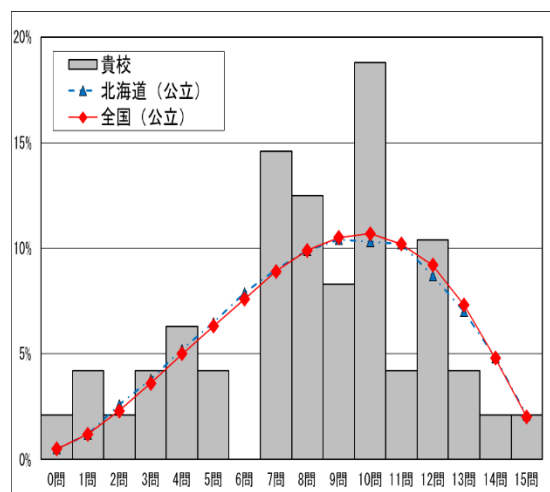
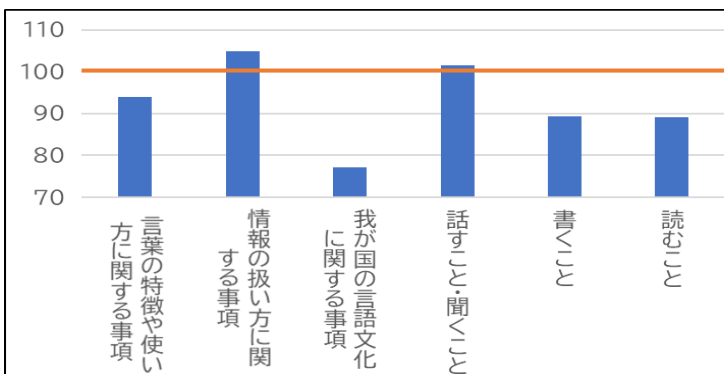
書くこと

この内容の問題は2問でした。表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する問題が出されました。他の問題に比べて無回答率が高かったため、引き続きRW・WWを通して読解力・記述力をつける取り組みを継続していきます。 <次のページに問題を掲載しています>

読むこと

この内容の問題は4問でした。選択問題の無回答率は全て0%で、全国を下回っています。しかし、「二つ選ぶこと」という条件に合わない解答が多く、正答率が低かったため、問題文を正確に読み取ることを指導していきます。

全国の平均正答率と比較して「やや低い」という結果でした。



佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた「フートの一部」と「物語の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（フートの一部）及び「物語の下書き」の①から④は、場面の番号を表します。）

フートの一部

〈登場人物の設定〉

・「僕」……紙の辞書。語り手。
・「君」……紙の辞書の持ち主（中学生）。

〈もどにする体験〉

小学生のとき、紙の辞書を机に置かず、机の下に隠して使った。
使ったとき、紙の辞書の引き方が難しく、机の下に隠して使った。
・最近ではオンライン辞書ばかり使っている。
・紙の辞書を久しぶりに使った。

〈物語を通して伝えたいこと〉

紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。

〈各場面では伝えたい「僕」の心情〉

① 出番のない寂しさ。
② 忘れられるかもしれない不安。
③ 久しぶりの出番で感じた喜び。
④ 次の出番への期待。

「物語の下書き」

① あの日も僕は、君の部屋の本棚の隅でじっと待っていた。ほこりだらけになりながら。中学生になってから、君はオンライン辞書を使うようになった。以前はよく、印を付けたら、書き込みをしたりしてくれていた。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。

② インターネットだと、複数の辞書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語さえ入力すれば、すぐに知りたいことを教えてくれるし、かさばらないし。君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのかな。

③ そう考えていたとき、君は僕を手にとった。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだったから、僕はびっくりし、君はほこりで大きくくしゃみをした。ほこりだらけの僕に顔をしかめたけれど、何度かページを繰っては、いろいろな言葉の意味を調べていた。当然、いつもよりは時間がかかっている。調べなければならぬ言葉だけでなく、近くにある言葉にも線を引き、意味を確認する君。意味調べが終わっても、君は僕をいつもの場所に戻さなかった。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言葉や書き込んだ言葉を読み返していた。君はふたりた表情をしていた。僕は自分が認められたような気がした。

④ あの日から数日が過ぎた。

四 佐藤さんは、「物語の下書き」の□の部分で、「フートの一部」の④の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

【書くこと】 3 問四
正答率 37.5% 無回答率 6.3%

（正答例）

ア（あの日から数日が過ぎた。）窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。

イ「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

②正答数の分布

15 問中 10 問正答の割合が最も高く、15 問全て正解した割合は、全国・北海道平均と同じでした。しかし、全問不正解の生徒や1問正解の生徒など下位層が多く、上位層が少ない状況が見られます。

【学校の取り組みと改善策】

本校の課題は、「適切なものを選択する」「表現の効果を説明する」ことです。そのため、国語科では、言語活動を中心とした合同授業・異学年交流授業を意識して行っています。2週に一回程度、図書ホールで、RW（リーディングワークショップ）・WW（ライティングワークショップ）を行い、全学年で、読書をして、内容や感想を話し合ったり、物語を作ったりする授業を行っています。また今年から、全学年で新聞記事を読み、適切なものを選択したり、要約をしたりする授業に取り組んでいます。

【数学】

①領域別の結果

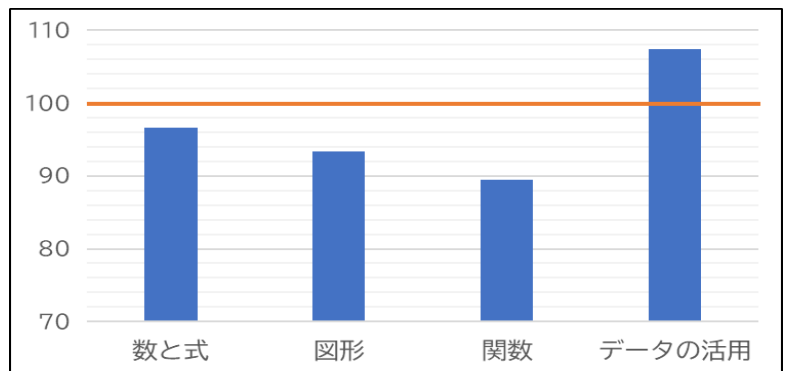
数と式

この領域の問題は5問でしたが、「正四面体を用いた整数の和を予想して説明する」記述式の問題の正答率は、全国を下回っており、数学的な表現を用いて説明することに課題が見られました。しかし、「等式を目的に応じて変形する」という基本的な問題は正答率が高く、全国平均も超えていました。

図形

この領域の問題は3問でしたが、「回転移動について理解しているか」の基本的な問題と「三角形の合同を証明する」記述式の問題で正答率が全国を下回っており、課題が見られました。しかし、「角の大きさに着目して、新たな性質を見いだす」選択式の問題では、正答率が全国を上回っていました。

全国の平均正答率と比較して「**ほぼ同様(下位)**」という結果でした。



関数

この領域の問題は4問でしたが、正答率が全国を大きく下回っている問題が多くあり、課題が見られました。しかし、「グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈できるか」という短答式の問題の無回答率が0%で、全員が問題に取り組むことができていました。<下に問題を掲載しています>

- ⑧ 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 Lの灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

説明書の情報

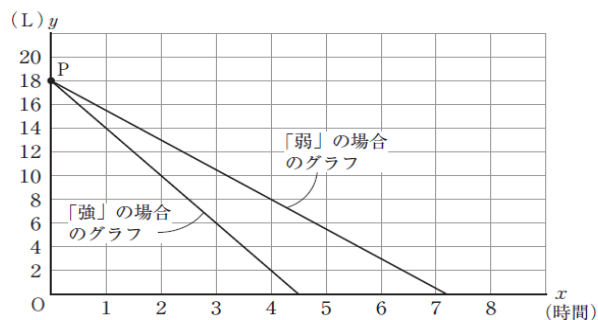
ストーブの設定	強	弱
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

結衣さんは、ストーブを6時間使用して、18 Lの灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることにしました。そのために、18 Lの灯油が入ったストーブの「強」の場合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を調べることにしました。

そこで、結衣さんは、説明書の情報の1時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてから x 時間経過したときの灯油の残量を y Lとして、「強」の場合と「弱」の場合の x と y の関係をそれぞれ $y = 18 - 4x$ 、 $y = 18 - 2.5x$ と表しました。そして、この2つの式をそれぞれ $y = -4x + 18$ 、 $y = -2.5x + 18$ と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。

ストーブの使用時間と灯油の残量

「強」の場合の式 $y = -4x + 18$
「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) ストーブの使用時間と灯油の残量の「強」の場合と「弱」の場合のグラフは、どちらも点Pで y 軸と交わっています。点Pの y 座標の値は、何を表していますか。下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア ストーブを使用し始めるときの灯油の残量
イ ストーブを使用し始めるときの時間
ウ 「強」の場合のストーブの1時間あたりの灯油使用量
エ 「弱」の場合のストーブの1時間あたりの灯油使用量

【関数】 ⑧ 問一

正答率 72.3% 無回答率 2.1%

(正答例) ア

データの活用

この領域の問題は4問でしたが、「複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較する」選択式の問題の正答率は、全国を大きく上回っています。そのほかの問題も全国平均を上回っているものが多く、どの問題も無回答率は全国を下回っていました。しかし、「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」記述式の問題の正答率は、全国を下回っており、課題が見られました。

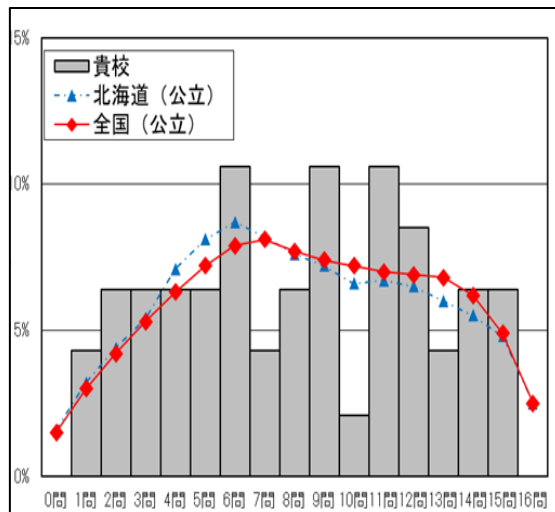
②正答数の分布

16問中0～4問の正答数の生徒の割合が全国より高くなっています。ただ、正答率の分布は、全国と同程度になっており、正答数が12問以上の高得点者も少なくないです。

【学校の取り組みと改善策】

本校の課題は、『根拠を明確にし、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を数学的な表現で説明する』ことができる力を高めることです。特に、伸びしろ層の生徒で多く見られるのが、直感的に思いついたことを解答として記述してしまい、なぜその解答になったのかを説明できないという状況です。

この課題を解決するため、本校の数学科では対話的な活動を重視した授業づくりを意識して行っています。グループ活動やICTを活用することで、各自の考えを他の生徒に伝える活動を意図的に作っています。「なぜそのような考えに至ったのか」「どのように求めたのか」を説明したり、説明を聞く中で、自分の考えと比較したり、新しい考え方を見つけたりする活動を通して数学的な表現をする力を育てています。



2. 生徒質問紙調査結果

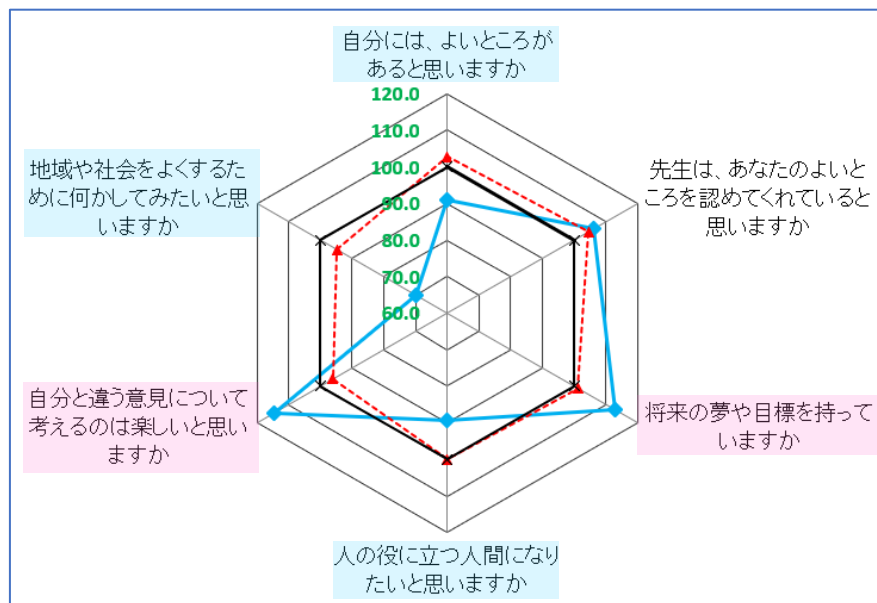
65項目の質問がありました。

本校の特徴的な項目をお知らせすると同時に、子どもたちのより良い成長に向けて、家庭との連携協力を確実に図ります。

1 規範意識・自己有用感・規範意識

◆千歳市立向陽台中学校
 -北海道(公立)
 ×全国(公立)

調査結果を踏まえた
 今後の主な学校の取り組み

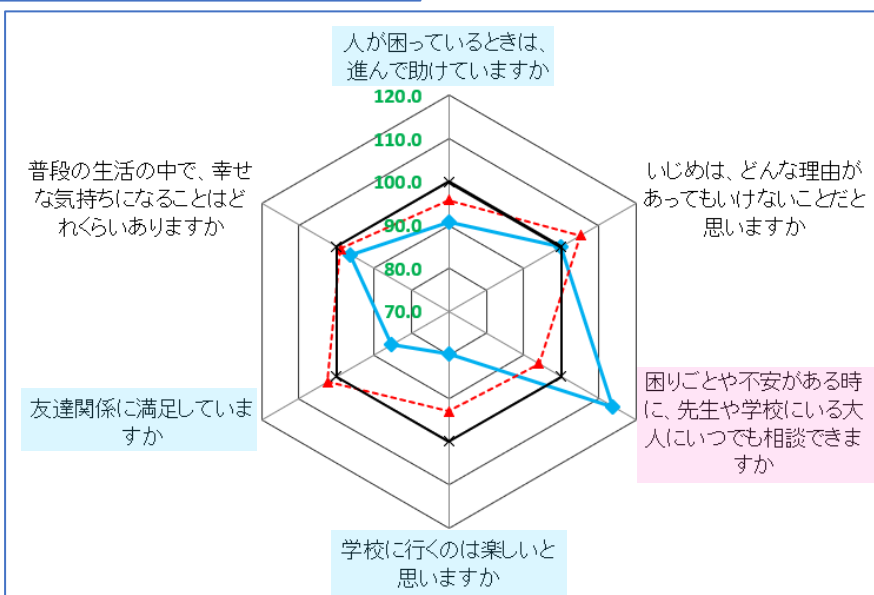


全国を100としたときに、
 本校で特に上回っているもの

- 市内の企業や近隣の上級学校を訪問して体験的な学習を行うなど、**キャリア教育**を通して、**将来について考える機会**を今後も設けます。
- 卒業後の進路を見据えて、生徒一人一人に寄り添った**丁寧な進路指導**を行い、生徒が自らの生き方を考え、**主体的に進路を選択できる力**を育みます。
- 授業や学活等で、**互いの意見を聞き合い、深める活動**を今後も積極的に行います。

全国を100としたときに、
 本校で特に下回っているもの

- 係、委員会活動や部活動、学校行事等で、**まわりと関わり合いながら自分の良さを生かし、やりがいを感じられるような活動**を工夫します。
- いじめを許さず、互いに助け合い協力することや、仲間を大切にする意識**を高めます。
- 対話やICTを取り入れた授業**を行い、**互いに学び合える学級集団づくり**を進めます。
- 花壇の整備やボランティア活動等を行い、**地域社会に貢献する気持ち**を高めます。



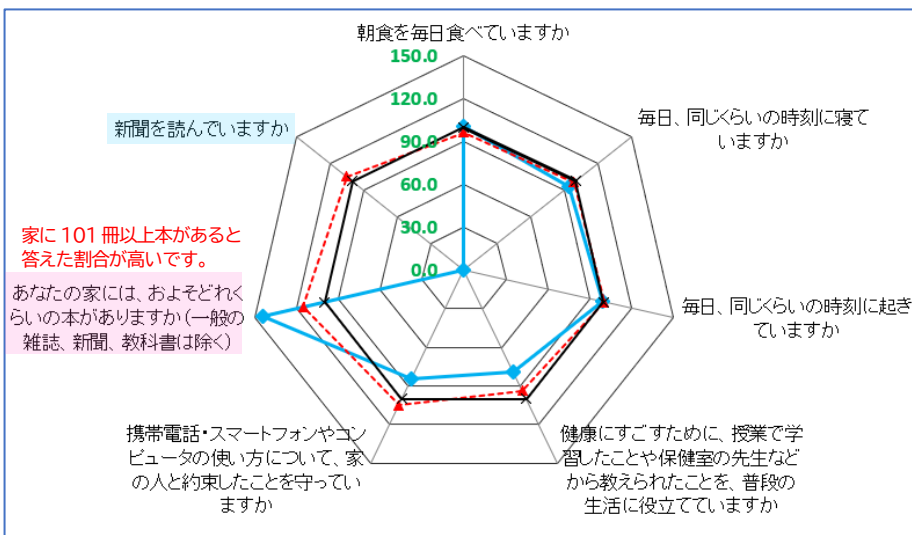
2 学習習慣・学習環境

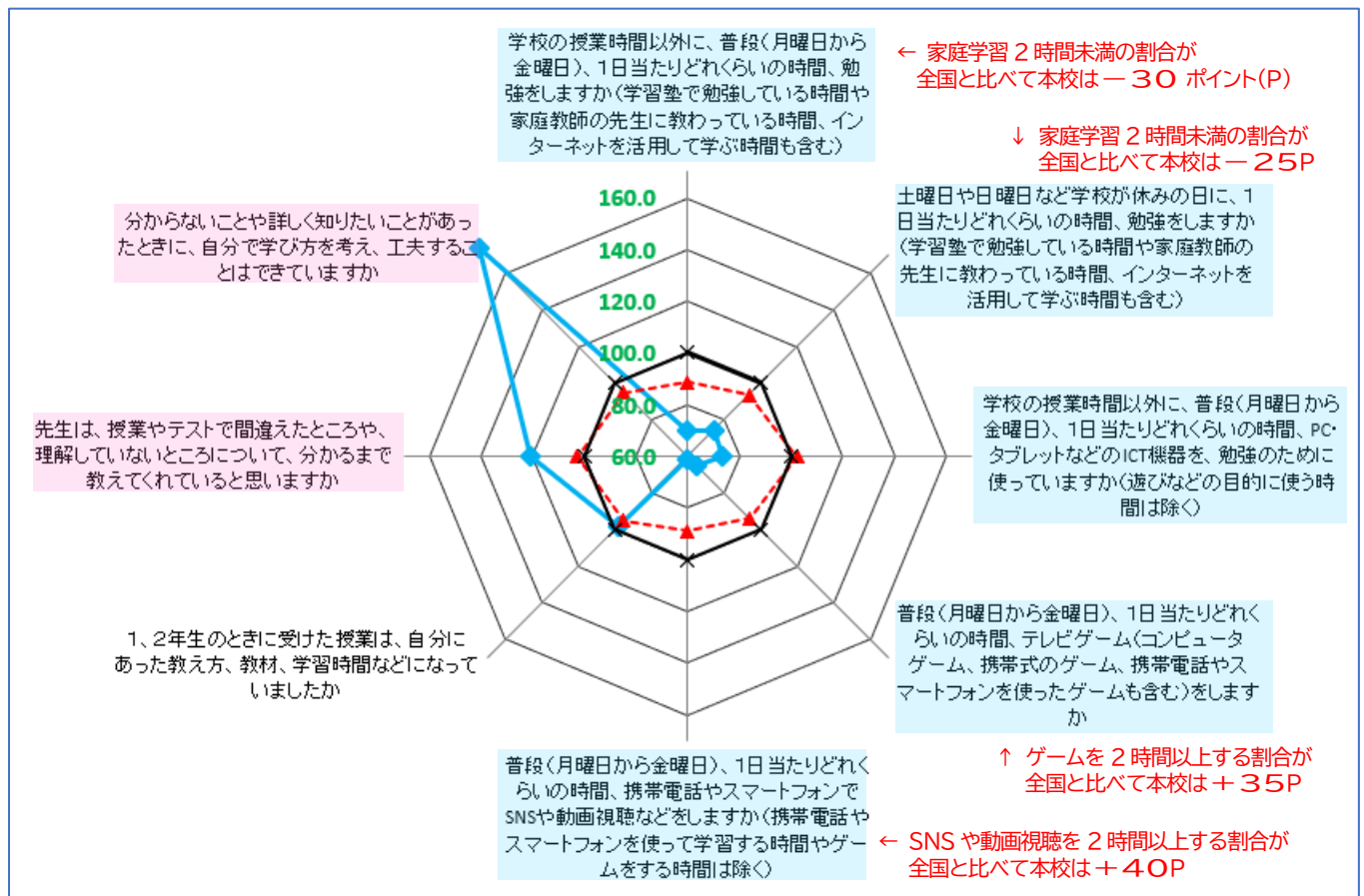
全国を100としたときに、
 本校で特に上回っているもの

- 朝読書の時間や各教科での取組**を通して、**読書の楽しさ**を味わい、**本に親しむ態度**を育てます。

全国を100としたときに、
 本校で特に下回っているもの

- 学校の図書ホールに新聞を置いて**います。教科や学活等でも活用**を進めます。





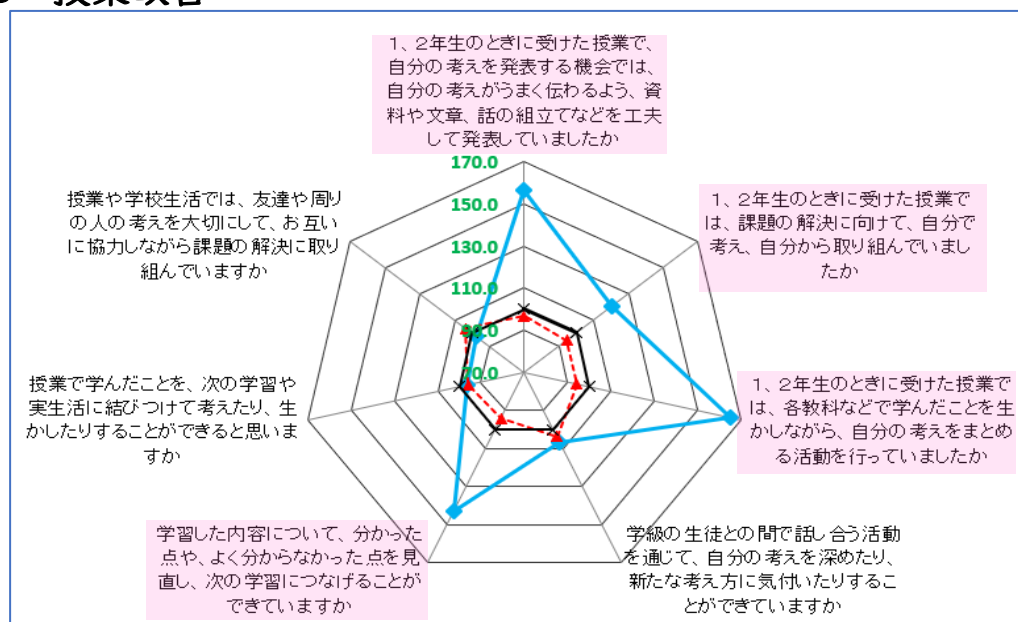
全国を 100 としたときに、本校で特に上回っているもの

- ・わからないことをそのままにせず、生徒用端末を活用して工夫して学んだり、教員に聞いたりできる環境を整えて、学習の更なる定着を図ります。

全国を 100 としたときに、本校で特に下回っているもの

- ・ゲームや SNS、動画視聴の時間が全国平均と比べて長く、家庭学習時間が短いことがわかります。引き続き「スマホ・ゲーム等 - 30 分、家庭学習 + 30 分」を意識して家庭学習を充実させられるよう、委員会活動等を通して働きかけます。また、授業のまとめや次の授業へとつながる家庭学習課題を設定し、授業と家庭学習を相互に関連させることで学習習慣が身につくようにします。
- ・家庭でのデジタルドリルの活用も含めて、家庭学習の定着に向けたアドバイスを続けていきます。

3 授業改善



全国を100としたときに、本校で特に上回っているもの

- ・生徒が**見通し**を持って学べるよう、**単元の学習計画**や**1時間の学習の流れを明確**にします。
- ・自分の考えをしっかりと持ち、周りに伝える**学習活動**を意図的に行い、思考力や判断力、表現力を高めます。
- ・お互いの意見を聞き合うことで理解を深め、広げられるよう、**近くの人や小グループで「対話」する学習活動**を積極的に取り入れます。
- ・**タブレットの様々なアプリを使って**、互いの意見や考えを伝え合い、理解を深められるよう、学び方を工夫します。
- ・**グーグルフォーム等を活用し、単元や授業の終了時にまとめや振り返りを行い**、課題を見つけて次の学習へとつなげます。
- ・**ハイパーQU 検査等を活用して、安心して学べ、発言できる学級づくりを進めます。**
- ・**習熟度別少人数指導や学習支援員などの活用**を充実させていきます。

〔家庭ではこのような取組をお願いします〕



千歳市
家庭生活宣言

みんなで
取り組もう!

子どもの「**学ぶ力**」・「**生活習慣**」を支えます。

家庭生活目標

例：小6 = 70分
中1 = 80分

- 帰宅してからの**学習時間**は
「**学年 × 10 分 + 10 分**」以上を目安に取り組めます。
- からだづくりの基本は「**早寝 早起き 朝ごはん**」。
規則正しいリズムで過ごします。
- 家庭で**読書**をします。

ちとせ統一ルール

- ① メディアに触れる時間は2時間を目安にします。
- ② 就寝1時間前までにスマホの使用やゲームをやめます。
- ③ 悪口や個人が特定される言葉や画像を書き込みません。
- ④ 学習や食事中には、電話やメール、SNSを使用しません。
- ⑤ 困ったときは、保護者や先生等に相談します。

保護者の取組

子どもの成長を支える生活環境を整えます。
子どもをネットトラブルや犯罪から守るため、
スマートフォンには**フィルタリング設定**をします。

千歳市PTA連合会 家庭生活宣言推進委員会

この事業は「みんなで進める千歳のまちづくり条例」による協働事業として実施(運営)しています。

千歳市PTA連合会では令和5年度に「千歳市家庭生活宣言」を見直し、令和6年度から、左記の通りに市内各校で更なる取組を進めています。千歳市の未来を担う子どもたちのために、家庭と学校が一体となって取り組むことが求められています。

スマホやゲームの約束事や学習時間などについて、参観日の懇談会やPTA活動の際に各家庭での取組を交流していただいたり、お知り合い同士で話題にさせていただいたりして、活動を深められればと思います。引き続きご家庭でのご理解とご協力をお願いいたします。